

お客様相談センター
 本製品に関するお問い合わせは… ☎047(420)0755
 受付時間/AM10:00~PM6:00 月曜日~金曜日(祝日休業)
 〒273-0023 千葉県船橋市南海神1-2-5

発売元
 株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

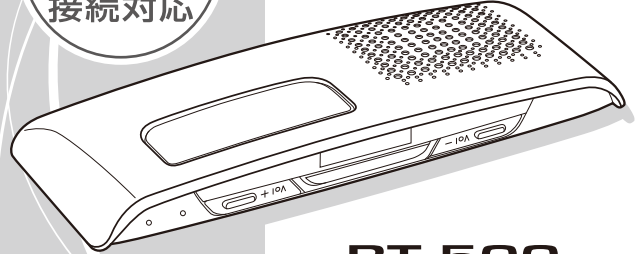
セイワホームページのご案内(右のQRコードでもOK)
 適合情報や、新製品情報などが掲載されておりますので、
 インターネットをご利用の方は、ぜひご覧ください。
<http://www.seiwa-c.co.jp>

SEIWA[®]
<http://www.seiwa-c.co.jp>

2台の携帯電話機を同時に待ち受けできる
**マルチ
 ポイント
 接続対応**

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください
 ※取り扱い説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、
 実際の製品と若干異なる場合があります。



BT 500
 BluetoothカーキットM1

はじめに 1
 安全にお使いいただくために(警告・注意) 2
 各部の名称 5
 充電する 6
 ペアリング 7
 使い方 9
 音量調節とミュート機能 12
 取り付け方法 13
 マルチポイント 14
 充電池について 15
 リセット(ペアリング解除) 16
 トラブルシューティング 17
 製品仕様 20
 機能・動作表示一覧 20
 製品の保証について 21

保証書

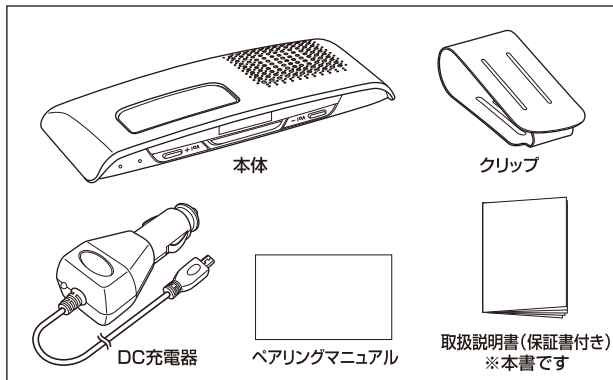
SINC
 Style of Interface to the Next Communication

はじめに

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)及びお手持ちの携帯電話の取扱説明書をお読みください。

・・・ セット内容の確認

セット内容がすべてそろっていることを確認してください。



・・・ はじめてご使用になる前に

本製品をはじめてご使用になるときには、次項「安全にお使いいただくために(警告と注意)」を必ずお読みいただき、以下のセットアップを行ってください。

1. 本体を充電してください。(→6ページ「充電する」を参照)
2. 本体をBluetooth対応携帯電話とペアリングしてください。(→7ページ「ペアリング」を参照)

安全にお使いいただくために

以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

警告 この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止 禁止(してはいけないこと)を示します。

指示 強制指示(必ず実行していただくこと)を示します。

- 警告**
- 火の中に投下したり、高温(70℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。**
 禁止 本体の内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボード上やグローブボックス内は直射日光の下では70℃以上の高温となりますので、ダッシュボード上及びグローブボックス内への取り付けはやめてください。また、炎天下の車内への放置、長期間の車内への保管、放置もやめてください。
 - 濡らさないでください。濡れた手でDC充電器にさわらないでください。**
 禁止 本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。
 - 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。**
 禁止 本体の内蔵充電池を破裂、発火、発熱、漏液させる原因となります。
 - 分解、改造、後加工をしないでください。**
 禁止 火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、本体の内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。本体の内蔵充電池は取り外したり、交換はできません。これらが起因する携帯電話機のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。また、DC充電器やUSBケーブルを分解・切断しての直接配線などは絶対にやめてください。
 - 走行中の運転者による携帯電話及びDC充電器の操作は絶対にやめてください。**
 禁止 運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。DC充電器への接続操作などは、お車を安全な場所に駐車しておこなってください。
 - 小さなお子様(乳幼児)やペットなどには絶対に与えないでください。**
 禁止 事故、けがなどのおそれがあります。
 - 付属のDC充電器は、DC12V/24Vのマイナスアース車で使用してください。**
 指示 指定外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。付属のDC充電器は自動車用です。お車のシガーソケット電源以外でのご使用はおやめください。また、DC充電器をご使用する時には、車のバッテリー保護のために必ずエンジンかけた状態で使用してください。

- ⊘ DC充電器のコードを傷つけたり、きつく結んだり、乱暴に扱わないでください。
感電、発火、発熱、故障、断線、けがの原因となります。
- ⚠ 電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従って本体の電源をオフにしてください。

注意

- ⊘ お車のエアバッグ拡張範囲に本製品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。
- ⊘ 極端な低温(-20℃以下)での保管、放置はやめてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- ⊘ 飛行機に搭乗する際は、搭乗前に本製品の電源をオフにして、機内では絶対に使用しないでください。
運航に影響を及ぼすおそれがあります。
- ⊘ DC充電器を屋外(車外)や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- ⚠ バッグなどに収納して持ち運ぶときは、本製品の電源をオフにしてください。
メインスイッチが押されて、携帯電話が誤って発信をするおそれがあります。
- ⊘ クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。
本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。
- ⚠ 長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所に保管してください。
- ⚠ プラグ類を抜く際は、ソケット/端子に対し必ず水平にゆっくり抜いてください。
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。
- ⚠ DC充電器のヒューズが破損した際には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。
車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。
- ⚠ DC充電器の接続は確実におこなってください。
使用される前に、本製品がお車のシガーソケットに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。また走行中にも振動により本製品が外れることがあります。接触不良の状態を使用した場合、本製品やお車のヒューズ、シガーソケット破損の原因になります。(一部の車種では、シガーソケットが浅く接触不良を起こす場合があります。)また、走行中の振動により電源プラグの先端キャップが緩む場合がありますので、定期的に先端キャップを増し締めしてください。
- ⊘ 付属しているDC充電器以外で、本製品を充電しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- ⊘ DC充電器のLED光源を直射しないでください。
目の健康をそとねるおそれがあります。

- *** 取扱い上のお願ひ
- 本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切負いかねます。
- 本製品を含むBluetooth機器同士で通話をする、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

Bluetoothについて

- Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。接続機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声やデータをやりとりすることができます。また赤外線などと違い、機器間の距離がおよそ10m以内(本製品と同じClass2機器の場合)であれば障害物があっても利用することができます。(状況により異なります)

本製品について

- 本製品はBluetooth Version 2.1 +EDR (Class2) に準拠、適合しておりますが、他のBluetoothバージョン内蔵機器との相互接続は、その互換性によることから保証しておりません。
- 適合可能な携帯電話に関する情報については適合表にてご確認ください。
- 内蔵充電電池は消耗品です。充電電池の劣化による通話/スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電電池の交換はできません。
- 本製品に付属のクリップは、保証対象外品です。初期不良以外は、保証期間内であっても取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替品の提供などはできませんのでご了承ください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

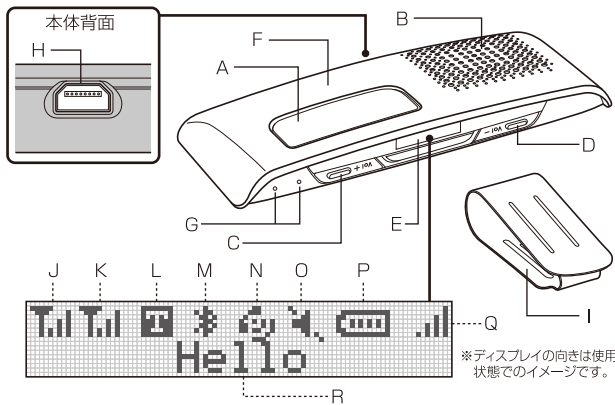
対応プロファイル

- HFP (Hands-Free Profile) / ハンズフリープロファイル <バージョン1.5>
- HSP (Headset Profile) / ヘッドセットプロファイル
- ※本製品は音楽再生機能には対応しておりません。

商標について

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

各部の名称



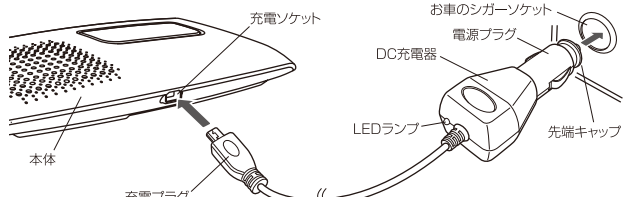
| 名称 | 機能・説明 |
|------------------|--|
| A. メインスイッチ | 主に 電源のオン/オフ、通話操作、ペアリング などに使用します。 |
| B. スピーカー | 1W(ワット)スピーカーです。 |
| C. ボリュームアップキー | 主に 音量アップ などに使用します。 |
| D. ボリュームダウンキー | 主に 音量ダウン などに使用します。 |
| E. ディスプレイ | 本体の状態や様々な情報を表示する有機ELディスプレイです。 |
| F. 充電電池 (内蔵) | リチウムポリマー電池。充電電池の交換はできません。 |
| G. マイク | 通話用マイクです。 |
| H. 充電ソケット | DC充電器の充電プラグを接続します。 |
| I. クリップ | サンバイザー取り付け用クリップです。 |
| J. 接続済み端末1受信状態 | ペアリングした携帯電話との通信感度を表示します。(マルチポイント接続時はA端末) |
| K. 接続済み端末2受信状態 | マルチポイント接続時に2台目の携帯電話(B端末)との通信感度を表示します。 |
| L. 着信番号読み上げ機能表示 | 設定ON時に表示。着信時に着信音と交互に電話番号を読み上げます。(→10ページ参照) |
| M. Bluetooth接続表示 | Bluetooth接続状態を示すアイコンです。 |
| N. 通話表示 | 備考1参照。 |
| O. マイクミュート表示 | 備考2参照。 |
| P. バッテリー残量表示 | 内蔵充電電池の残量目安を表示します。 |
| Q. ボリューム表示 | スピーカー音量の大きさを表示します。 |
| R. ステータス表示 | 機能に応じた動作状況や着信時の相手先電話番号などを表示します。 |

充電する

本体には充電電池が内蔵されています。使用前に十分に充電してください。充電には、必ず付属の専用DC充電器を使用してください。DC充電器はDC12V/24V対応(マイナースーツ専用)です。

充電する際の注意

- ※電源オン状態(スタンバイモード/接続待ちモード中)でも電源オフ状態でも充電可能です。
- ※充電プラグには差し込み方向があります。充電ソケットと充電プラグの形状を確認してから接続してください。無理に差し込むと破損するおそれがあります。
- ※本製品を長期間使用していなかったり、充電電池が完全放電した状態では、充電が開始されるまで時間がかかる場合があります(数分かかる場合もあります)。



充電の手順

- お車のシガーソケット内のゴミ、灰等をよく取り除いてください。汚れたままDC充電器の電源プラグを差し込むと接触不良の原因になります。
- あらかじめ、お車のエンジンをかけてください。
- DC充電器の電源プラグをお車のシガーソケットに差し込んでください。振動等で抜け落ちることのないよう奥までしっかり差し込んでください。通電すると、LEDランプが点灯します。
- 本体は約3時間で満充電になり、充電が完了すると「Charger Complete」と表示されます。
- ※充電電池の劣化を防ぐため、6時間以上の充電は避けてください。
- ※走行中にDC充電器の電源プラグ先端キャップがゆるむことがありますので、ご使用前に増し締めを行ってください。

充電電池の残量警告

- 本体の内蔵充電電池の残量が少なくなると、ディスプレイに「Low Battery」と表示され、20秒ごとにピー音が鳴ります。その後30分以内に充電が行われない場合、本体の電源が自動的にオフになります。

ペアリング

本製品をはじめでご使用になる場合、まずBluetooth対応携帯電話とペアリングする必要があります。ペアリングは携帯電話ごとに設定方法が異なりますので、設定を行う前に必ず携帯電話の取扱説明書「Bluetooth」の項目を参照してください。

… ペアリングの手順

以下の手順は概略的なものです。同梱の「ペアリングマニュアル」に携帯電話の機種別設定方法を記載しておりますので、そちらも参照してください。
また、「ペアリングマニュアル」に記載のない機種につきましては、弊社ホームページまたは弊社お客様相談センターにお問い合わせください。(裏紙を参照)

1. 本体と携帯電話(Bluetooth対応機種)を準備してください。

本体が電源オフの状態(ディスプレイ非表示の状態)であることを確認してください。
本体と携帯電話を手元(1メートル以内)に用意してください。

ヒント

本体が省電力モードになっていると、ディスプレイ非表示の状態になります。この場合はメインスイッチを短く1回押すとディスプレイが点灯しますので9ページを参照して電源をオフにしてください。(電源オフの状態では、メインスイッチを短く1回押しでも変化がありません。)

2. 本体のメインスイッチを5秒以上長押しして、ペアリング待機モードにしてください。

本体が電源オフの状態からメインスイッチを5秒以上長押ししてください。
本体のディスプレイに「Pairing Mode」と表示されたのを確認して、手を離してください。「Pairing」と「Pairing Mode(他にアイコン表示)」が交互に表示されるペアリング待機モードになります。

3. 携帯電話のメニューからBluetoothを選択して、Bluetooth周辺機器の検索(サーチ)を行ってください。

例: 「Bluetooth」→「ON/OFF設定」→「周辺デバイス検索」
携帯電話のBluetooth項目から、Bluetooth周辺機器の検索(サーチ)を行ってください。
※その際、選択肢の出る機種は、ハンズフリー機器として登録・検索を行ってください。
携帯電話の画面に検索リストとして、ご使用になっている「Sinc BT500」が表示されたことを確認してください。
携帯電話の機種によっては、自動的にパスキーの入力画面が表示される場合があります。

ヒント

Bluetooth項目の例
主なdocomo機種の例: 「メニュー」→「LifeKit」→「Bluetooth」
主なau機種の例: 「メニュー」→「アクセサリ」→「Bluetooth」
主なSoftBank機種の例: 「メニュー」→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」
付近に本製品が複数ある状況下ですと、「Sinc BT500」が複数表示されることがありますので、ご注意ください。また、周辺に他のBluetooth機器やワイヤレス接続のPCなどが多い環境では、検索されにくい場合があります。その場合は何回か繰り返しお試しください。

4. 「Sinc BT500」を選択してください。

携帯電話の画面に表示された検索リストの中から、ご使用になっている「Sinc BT500」を選択してください。

7

BT500 / 取扱説明書

5. パスキーを入力してください。

携帯電話の画面に従い、パスキーを「0000」と入力してください。
本製品の登録は「ハンズフリー」で行ってください。
携帯電話の機種によっては、初回及び2回目以降のペアリング時にはパスキーの入力が不要場合があります。

ヒント

パスキー入力前に「携帯電話の端末認証番号」を入力する機種があります。端末の認証番号とパスキーは異なりますのでご注意ください。端末の認証番号は、あらかじめ決められた番号もしくはお客様が設定した番号です。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

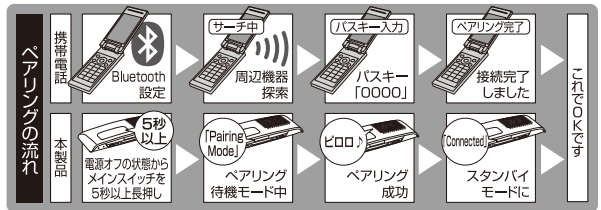
6. ペアリング完了。(「ピロロ」)と音が鳴ったらペアリング成功)

ペアリングが成功すると、「ピロロ」と音が鳴った後、ディスプレイに「Connected」と表示されます。その後、ディスプレイには「Connected」と「Connected Mode(他にアイコン表示)」が交互に表示されるスタンバイモードになります。
ペアリングが失敗した場合は、ピー音が1回鳴った後、ディスプレイに「Connectable」と表示されます。その後、ディスプレイには「Connectable」と「Connectable Mode(他にアイコン表示)」が交互に表示される接続待ちモードになります。
ペアリングが成功したら携帯電話をメニュー(待ち受け画面)に戻してください。
一度ペアリングを完了すれば、別の機器とペアリングを行わない限り、再度ペアリングをする必要はありません。本体の電源をオフにした後、再度使用する場合は、携帯電話を「Bluetooth接続待ち」の状態にして、ヘッドセットの電源を入れると、自動的に接続を行います。(機種によっては、接続時に操作が必要な場合があります。)

ヒント

機種によってはペアリング後に「接続」を行わないと使用できない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
機種によっては画面にBluetoothのアイコンや、ヘッドセットのアイコンが表示されるものがあり、ペアリングが完了したことがわかる場合があります。

※2台目のBluetooth機器を登録する場合は「マルチポイント接続(→14ページ)」を参照してください。



◆携帯電話の機種によっては、はじめにBluetoothを「オン」に設定する必要があります。
◆ペアリング待機モードは約3分で自動的に終了します。
◆ペアリングが成功しなかった場合は、本体を一度電源オフの状態にして(→9ページ「使い方」を参照)、7ページの手順1から再度ペアリングを試みてください。

BT500 / 取扱説明書

8

使い方

電源のオン/オフや、ペアリング待機モードの操作方法です。

… 電源を入れる(電源オン)

メインスイッチを約2秒間長押し。

電源オフ状態からメインスイッチを約2秒間長押しすると、起動メロディが流れ、ディスプレイには「Hello」と表示されます。その後ペアリング済みの携帯電話と自動認識が行われます。
ペアリング済みの携帯電話と自動認識が行われ、接続が完了すると、「ピロロ」と音が鳴った後、ディスプレイに「Connected」と表示されます。その後スタンバイモードになります。
自動認識が失敗した場合は、ディスプレイには「Connectable」と表示される接続待ちモードになります。

ヒント

ご購入直後など、どの携帯電話ともペアリングされていない状態では、電源をオンにするまでペアリング待機モードになります。

… スタンバイモード

電源オンで携帯電話と接続(リンク)されている状態をスタンバイモードといいます。スタンバイモード中のディスプレイには「Connected」と「Connected Mode(他にアイコン表示)」が交互に表示されます。通話などの基本操作はこのスタンバイモードから行えます。

… 接続待ちモード

電源オンで携帯電話と接続(リンク)されていない状態を接続待ちモードといいます。接続待ちモード中のディスプレイには「Connectable」と「Connectable Mode(他にアイコン表示)」が交互に表示されます。

ヒント

接続待ちモード中にメインスイッチを1回押すと、「Connecting」と表示され、接続が試行されます。ペアリング済みの携帯電話が近くにある場合は接続されます。また、ペアリングのされていないBluetooth対応の携帯電話が近くにある場合、機種によっては、パスキー入力画面が表示されたり、自動的にペアリングが行われる場合があります。(→7ページ「ペアリング」を参照)

… 省電力モード

通話や操作を全く行わないと、本体は約10分後に自動的にディスプレイ表示が消灯して省電力モードになります。ボタン操作や発着信が行われると、再びディスプレイが表示されます。

… 電源を切る(電源オフ)

メインスイッチを約4秒間長押し。

電源オンの状態(スタンバイモードや接続待ちモード)から、メインスイッチを約4秒間長押しすると、シャットダウンメロディが流れ、ディスプレイには「Good Bye」と表示されます。その後電源がオフになります。



◆一度ペアリングをした後は、本製品の電源を入れると、携帯電話を自動的に認識してスタンバイモードになります。
◆携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
◆本製品をペアリング後、長期間使用していない場合は、ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を接続しなおしてください(※ペアリングではありません)。それでも接続できないときは、本体のペアリングを一度解除(→16ページ「リセット」を参照)し、再度ペアリングを行ってください。

9

BT500 / 取扱説明書

… ペアリング待機モードにする

メインスイッチを5秒以上長押し。

電源オフの状態からメインスイッチを5秒以上長押しして、ディスプレイに「Pairing Mode」と表示されたのを確認してから手を離してください。ディスプレイに「Pairing」と「Pairing Mode(他にアイコン表示)」が交互に表示されるペアリング待機モードになります。

ヒント

ペアリング待機モードは約3分間継続します。
ペアリング待機モード中でも電源オフの操作は有効です。

以下は通話に関する操作方法です。
あらかじめ携帯電話とペアリングして接続することにより、ご使用できます。

… 電話を受ける(着信応答/通話)

メインスイッチを1回押し。

着信中は本体のスピーカから着信音が聞こえ、ディスプレイには着信相手の電話番号が表示されます。メインスイッチを短く1回押しすると、「ピッ」という操作音が鳴って電話を受けられます。通話中のディスプレイには「Active Call」と「Active Call Mode(他にアイコン表示)」が交互に表示されます。

ヒント

着信番号読み上げ機能(Text to Speech)
着信番号読み上げ機能がONに設定してある場合、着信音と交互に電話番号を読み上げます。着信番号読み上げ機能のON/OFF設定は、ディスプレイのアイコン表示で確認できます。
ON/OFF設定の切り替えは、電源オンの状態(スタンバイモードまたは接続待ちモード)で、ボリュームアップキーとボリュームダウンキーを同時に短く1回押しと切り替えることができます。

… 電話を切る(終話)

メインスイッチを1回押し。

通話中にメインスイッチを短く1回押しすると、「ピッ」という操作音が鳴って電話が切れます。その後、スタンバイモードになります。

ヒント

携帯電話を通常操作(終話ボタンを押すなど)して電話を切ることもできます。

… ラストナンバーリダイヤル

メインスイッチを1回押し。

メインスイッチを短く1回押ししてください。携帯電話から一番最後に発信した番号にダイヤルします。

ヒント

HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本製品からのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してリダイヤルしてください。
マルチポイント接続時には1台目の携帯電話でのリダイヤルとなります。2台目の携帯電話でリダイヤルする場合は、ボリュームアップキーを約2秒間長押ししてください。

10

BT500 / 取扱説明書

・・・ 通話履歴からのダイヤル

本製品は、新しいものから最大5件の通話履歴を記憶しています。記憶している番号にダイヤルすることができます。

着信履歴からのダイヤル

ボリュームダウンキーで着信履歴を表示し、選択後、メインスイッチを1回押し。
スタンバイモードでボリュームダウンキーを押すと、「Incoming」と表示され、さらにボリュームアップキー及びボリュームダウンキーを押すと、着信した電話番号の履歴がディスプレイに表示されます。ダイヤルしたい番号を表示させ、メインスイッチを短く1回押しするとその番号に発信できます。着信履歴が少ない場合、開いているメモリー番号には「empty」と表示されます。

発信履歴からのリダイヤル

ボリュームアップキーで発信履歴を表示し、選択後、メインスイッチを1回押し。
スタンバイモードでボリュームアップキーを押すと、「Outgoing」と表示され、さらにボリュームアップキー及びボリュームダウンキーを押すと、発信した電話番号の履歴がディスプレイに表示されます。リダイヤルしたい番号を表示させ、メインスイッチを短く1回押しするとその番号に発信できます。発信履歴が少ない場合、開いているメモリー番号には「empty」と表示されます。

ヒント

「Incoming」「Outgoing」「通話履歴」を表示させた状態で5秒間操作をしないと、スタンバイモードに戻ります。

・・・ 不在着信への折り返しダイヤル

不在着信が表示されている状態で、メインスイッチを1回押し。

本製品は、着信した電話を取らなかった場合、最新の不在着信番号を記憶しています。不在着信があると、ディスプレイにその電話番号と、「Missing Call」と表示されます。メインスイッチを短く1回押しするとその番号に発信できます。

ヒント

マルチポイント接続時には、不在着信表示及び折り返しダイヤルは機能しません。

・・・ 着信拒否する

メインスイッチを約2秒間長押し。

着信中にメインスイッチを約2秒間長押ししてください。着信拒否をします。

・・・ 本製品から携帯電話に通話を切り替える

メインスイッチを約2秒間長押し。

本製品で通話中にメインスイッチを約2秒間長押しすると、切り替えを知らせるピープ音が鳴って通話を携帯電話に切り替えることができます。その後の操作(電話を切るなど)は携帯電話で行ってください。

ヒント

メインスイッチを短く1回押しすと通話が切れてしまいますので注意してください。

・・・ 携帯電話から本製品に通話を切り替える

メインスイッチを約2秒間長押し。

接続している携帯電話で通話中に、本製品のメインスイッチを約2秒間長押しすると、切り替えを知らせるピープ音が鳴って通話を本製品に切り替えることができます。

ヒント

メインスイッチを短く1回押しすと通話が切れてしまいますので注意してください。

携帯電話を通常操作して、発信ダイヤルし、その後本製品に通話を切り替えることもできます。通話相手が着信応答した後(電話に出た後)、1～2秒してからメインスイッチを約2秒間長押ししてください。本製品に通話が切り替わります。海外メーカーの携帯電話など一部の機種では、携帯電話を通常操作して発信ダイヤルすると、自動的に本製品に通話が切り替わる機種もあります。また、シャープ製などの一部の機種ではBluetooth設定の「マイデバイス設定」で「常にハンズフリー通話」をONにすることで、携帯電話を通常操作して発信ダイヤル後、本製品に自動切り替えが可能になる場合があります。

音量調節とミュート機能

・・・ 音量調節(通話中)

ボリュームアップキーまたはボリュームダウンキーを押して調節。

- 通話中にボリュームアップキーまたはボリュームダウンキーを押して最適な音量に調節してください。(15段階)
- 最大、最小時にさらにキーを押すとピープ音が聞こえます。

・・・ ミュート機能(通話中)

ボリュームダウンキーを約2秒間長押し。

通話中にボリュームダウンキーを約2秒間長押しすると、ディスプレイに「MIC Mute Mode」と表示され、本製品のマイクがミュートされます(こちらの声が通話相手に聞こえなくなります)。また、ディスプレイのマイクミュート表示もミュート状態のアイコンに切り替わります。ミュート中は約10秒ごとにピープ音が鳴ります。

ボリュームアップキーまたはボリュームダウンキーを1回押しすとミュートが解除されます。



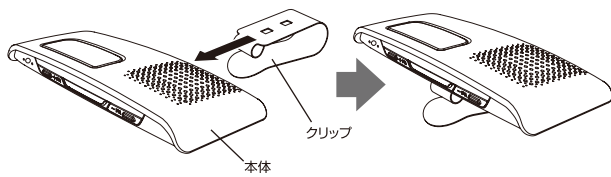
◆運転操作の妨げとなりますので、音量を必要以上に上げすぎないでください。また、大きな音量での長時間の通話はおやめください。

取り付け方法

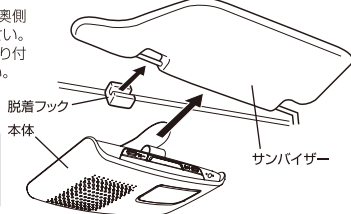
本製品をお車で使用する場合は、サンバイザーに取り付けて使用してください。取り付けには付属のクリップを使用します。ダッシュボード上やグローブボックスなどへの設置・収納はおやめください。

・・・ お車のサンバイザーへの取り付け

①クリップを本体に取り付けてください。



- ②サンバイザーを脱着フックから外し、奥側から挟み込むように取り付けてください。
- ③サンバイザーを脱着フックに再度取り付け、本製品の位置を調節してください。



ヒント

クリップを逆向きに取り付けると、サンバイザーの手前側に取り付けられます。使いやすい位置に取り付けてください。

・・・ オフィスやご家庭などで置いて使用する場合

- 本製品をお車から持ち出して、オフィスやご家庭でハンズフリーユニットとして使用することもできます。
- 置き型(スピーカーを上にして置く)として使用する場合、ディスプレイ表示の上下を反転させて使用します。
- スタンバイモード及び接続待ちモード中に、ボリュームアップキーとボリュームダウンキーを同時に約2秒間長押しすると、ディスプレイの表示が上下逆さになります。

マルチポイント

本製品は同時に2台のBluetooth機器と接続が可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本製品を操作して着信を受けることができます。(2台同時待ち受け)

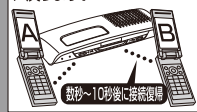
・・・ マルチポイントについて

マルチポイント接続中の 待ち受け/着信 イメージ

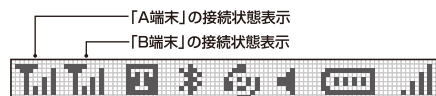
2台同時待ち受け時には、どちらの携帯電話に着信があっても本製品から着信音が鳴り、メインスイッチを短く1回押しすることで着信を受けられます。

1台の携帯電話で通話中に別の携帯電話に着信があっても、本製品から着信音は鳴りません。接続が一旦的に切れた状態となります。

通話が終了して数秒～10秒後、自動的に2台目との接続が復帰し、2台同時待ち受けに戻ります。



- ノキア製携帯電話同士は同時にペアリングできません。
- 2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。
 - ①1台目の携帯電話(この携帯電話を「B端末」とします。)をペアリングしてください。
 - ※この「B端末」はノキア製携帯電話以外を選んでください。
 - ②一度本体の電源をオフにしてください。
 - ③2台目の携帯電話(この携帯電話を「A端末」とします。)をペアリングしてください。
 - ④1台目にペアリングした「B端末」と再接続(ペアリングではありません。登録機器リストなどから「BT500」を選択しての再接続です)を行ってください。
- ※auの携帯電話など再接続メニューが無い機種の場合は、本製品の自動接続機能を利用してマルチポイント接続します。①～③まで行い、本体の電源をオフにしてください。その後再び本体の電源をオンにしてしばらく待つと、「A端末」と「B端末」2台とも自動的に接続状態になります。
- マルチポイント接続が完了すると、以下のように接続済み端末受信状態が2つ表示されます



- マルチポイント接続した状態で本製品の電源をオフすると、携帯電話の機種によっては本製品と最後に通信した携帯電話のペアリングだけが記憶され、もう1つのペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、次回使用時に上記の②から再度設定してください。
- 1台の携帯電話で通話中に別の携帯電話に着信があった場合、本製品から着信音は聞こえません。携帯電話での確認となります。

*** マルチポイント接続時の電話の受け方(着信応答/通話)

「A端末」「B端末」どちらの携帯電話への着信も、通常操作で受けられます。メインスイッチを短く1回押すと、「ピッチ」という操作音が鳴って電話を受けれます。通話中のディスプレイには「Active Call」と「Active Call Mode(他にアイコン表示)」が交互に表示されます。

ヒント

1台の携帯電話で通話中に別の携帯電話に着信があった場合、メインスイッチを短く1回押すと、現在の通話を終了して別の電話の着信を受けることができますが、通話の切り替えに数秒〜10秒程度のタイムラグがかかる場合があります。このため携帯電話の着信設定によっては、先に留守番電話になってしまうなど切り替えができない場合があります。一度、携帯電話の取扱説明書にて着信に関する設定をご確認ください。

1台の携帯電話で通話中に別の携帯電話に着信があった場合に、別の携帯電話の着信を確実にとるためには以下の順序にて操作してください。

- ①着信のある別の携帯電話を操作して着信をとってください。(そのまま少しお待ちいただくようお願いいたします。)
- ②本製品のメインスイッチを短く1回押して1台目の通話を切ってください。
- ③数秒〜10秒程度のタイムラグはありますが、2台目の携帯電話が本製品にて通話可能となります。

*携帯電話の機種によっては、切り替わらない、または切り替えに設定が必要な場合があります。

*** マルチポイント接続時の発信ダイヤル

A端末 「使い方(9〜12ページ)」に記載してある発信ダイヤルの各種操作そのまま使用できます。

B端末 ラストナンバーリダイヤルのみ可能です。
ボリュームダウンキーを約2秒間(長いビープ音が聞こえるまで)長押ししてください。

充電機について

*** 連続通話時間/スタンバイ時間

- 完全充電された本製品は最大約15時間の通話が可能です。
- 通話していないときはスタンバイモードとなり、最大約300時間のスタンバイが可能です。
- 使用状況・環境、携帯電話の機種、音量、充電の仕方、動作条件などによって利用時間は短くなります。

*** 充電に関する注意

- 約3時間で満充電となります。
- 充電機の劣化を防ぐため、6時間以上の充電は避けてください。
- 充電機は消耗品のため保証対象外です。長期間の使用により、通話時間/スタンバイ時間の短縮が起こることがあります。十分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電機の寿命です。充電機の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。



◆通話時間、スタンバイ時間はおおよその目安です。

◆バッテリーは使用されていなくても少しずつ放電していますので、長時間使用されていない場合は必ず充電をしてから使用してください。

◆携帯電話本体の電池も、Bluetooth機能をオンにすることで通常の通話より消耗が早くなりますので、十分に充電してから使用してください。

リセット(ペアリング解除)

本製品をリセットして、出荷時の状態に戻す方法です。リセットするとすべてのペアリングが解除され、ペアリング履歴や通話履歴も消えます。機種変更した場合など、使用する携帯電話を変更する場合は、本製品を一度リセットしてから使用してください。

適合が確認されている機種とペアリングができなかったり、ペアリング済みの携帯電話が突然認識できなくなった場合などは、リセットして再度ペアリングすることで改善する場合があります。

*** リセットの手順

ボリュームダウンキーとメインスイッチを同時に4秒以上長押し。

本製品がスタンバイモードまたは接続待ちモードの状態では、ボリュームダウンキーとメインスイッチを同時に約4〜6秒間長押ししてください。

ディスプレイに「Reset Data」と表示され、すべてのデータが消去されます。



- ◆携帯電話に登録されているリストから削除する場合は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- ◆リセット後、はじめて本製品の電源をオンすると、本製品はペアリング待ちモードに入ります。
- ◆マルチポイント接続していた場合でも、すべてのペアリングが解除されます。
- ◆電源オフの状態でもリセット操作は有効ですが、ディスプレイに「Reset Data」の表示は出ませんのでご注意ください。

トラブルシューティング

故障かな?と思ったときは、修理に出す前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

| 症状や疑問点 | 確認していただくこと | 参照 |
|--------------------------|---|------------------------|
| 電源がオンにならない | 本体の充電電池が十分に充電されていない可能性があります。十分に充電してから、再度試してください。 | 6ページ |
| | メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。約2秒間メインスイッチを押しっぱなしにしてください。 | 9ページ |
| 電源をオンにするとペアリング待ちモードになる | 本体がどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後や、リセット直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリング待ちモードになります。 | 7ページ 9ページ 10ページ |
| 電源がオフにならない | メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。約4秒間メインスイッチを押しっぱなしにしてください。 | 9ページ |
| ペアリング待ちモードにならない | 電源スイッチがオンになっているか、メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。電源をオフにしてから、5秒以上メインスイッチを押しっぱなしにしてください。 | 7ページ 10ページ |
| 電源をオンにしてもペアリング待ちモードにならない | 本製品にペアリング履歴が残っていると、メインスイッチをオン(約2秒間長押し)しただけではペアリング待ちモードになりません。メインスイッチを5秒以上長押ししてペアリング待ちモードにするか、一度本体をリセットしてください。 | 7ページ 10ページ 16ページ |
| ペアリングができない | 本体のペアリング待ちモードが終わらないうちに(約3分以内に)、携帯電話での周辺機器サーチを完了してください。 | 7ページ |
| | 本体の充電電池残量が少ない状態では、ペアリングが成功しにくい場合があります。十分に充電してから、再度試してください。 | 6ページ |
| | 周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度試してください。またはリセットして再試行してください。 | 7ページ 16ページ |
| | 携帯電話が不適合であったりペアリング手順が間違っている可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。可能であれば他の携帯電話(適合機種)で一度ペアリングをおためしください。 | 7ページ |
| パスキーがわからない | 本製品のパスキーは「0000」です。 | 8ページ |
| 通話、受信ができない | 本体及び携帯電話の電源がオフになっている可能性があります。電源をオンにしてください。 | 9ページ |
| | 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。 | |
| | 携帯電話とペアリングまたは接続(リンク)が出来ていない可能性があります。ペアリング済みで、かつ接続が正常に行われているか、確認してください。 | 7ページ 8ページ |
| | 着信中にメインスイッチを約2秒間長押ししてしまうと、着信拒否の機能がはたらきます。通話を受けるには1回押してすぐに離してください。 | 10ページ 11ページ |

| 症状や疑問点 | 確認していただくこと | 参照 |
|------------------------|--|-------------------------|
| 電話が切れない | メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。電話を切る(終話する)には、約2秒間長押ししてください。 | 11ページ |
| 通話中にノイズが聞こえる | 本製品を含むBluetooth機器同士で通話すると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。 | |
| 通話中に音がとぎれる | 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また、携帯電話の電波が混線しやすい環境下や、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質が落ちる場合があります。 | |
| | 携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。(パナソニック製の一部機種など) | |
| | 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎているか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。 | |
| | 携帯電話をスポンの後ろポケットなどに収納している場合など、携帯電話と本製品の間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。 | |
| 音が聞こえない | 携帯電話を操作して発信ダイヤルをする、携帯電話側でしか通話できません。本製品に通話を切り替えるには、機種ごとに決められたタイミングで、メインスイッチを約2秒間長押ししてください。 | 12ページ |
| 音が聞こえない | 携帯電話とペアリングまたは接続(リンク)が出来ていない可能性があります。ペアリング済みで、かつ接続が正常に行われているか、確認してください。 | 7ページ 8ページ |
| 音量が小さくない | 音量が小さくなっている可能性があります。本体のスピーカー音量を調節してください。 | 12ページ |
| | 本体の電源がオフになっている可能性があります。電源をオンにしてください。 | 9ページ |
| | 通話中にメインスイッチを約2秒間長押ししてしまうと、通話が携帯電話に切り替わり、本体から音声が聞こえなくなります。その後の通話及び操作は携帯電話で行ってください。 | 11ページ |
| | 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎているか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。 | |
| 本体から断続的に、ピー音が聞こえる | 本体の電源をオンにしたとき、充電機に十分な容量が残っていないと、スピーカーから約20秒間隔でピー音が聞こえます。このような場合は、お早めに本体の充電を行ってください。 | 6ページ |
| 本製品から発信ダイヤルできない | 本製品の操作だけの発信ダイヤルは、ラストナンバーリダイヤル、発信履歴(合計5件記憶)、不在着信への折り返しダイヤルのみとなります。指定の番号にダイヤルしたい場合は、携帯電話を操作して発信ダイヤルし、その後、本製品に通話を切り替えてください。 | 10ページ 11ページ 12ページ |
| 本製品からラストナンバーリダイヤルができない | HFP(ハンズフリープロフィール)が使用できない携帯電話では、本製品からのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 | 10ページ |
| 使用中に電源が切れる | 頻繁に切れるようであれば、本体を一度リセットし、再度ペアリングを行ってください。 | 16ページ |

| 症状や疑問点 | 確認していただくこと | 参照 |
|--------------------------|---|-------|
| ペアリング後に電源を再投入すると自動認識されない | 携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を設定しなおしてください(※ペアリングではありません)。それでも接続できないときは、本体を一度リセットし、再度ペアリングを行ってください。 | 16ページ |
| ワンセグの音声や音楽が聞こえない | 本製品は音楽再生には対応しておりません。ワンセグの音声や、携帯電話に保存した音楽などを聴くには、音楽再生のプロファイルに対応した製品を別途お買い求めいただく必要があります。 | |
| カーナビと接続したい | 本製品はカーナビにはご使用できません。 | |
| パソコンと接続したい | パソコン側のBluetooth機器がヘッドセットプロファイル(HSP)に対応していれば接続が可能ですが、相互接続はその互換性によることから保証しておりません。また、パソコンとの接続に関するサポートは一切行っておりません。 | |
| 通話/スタンバイ時間が短くなってきた | 内蔵充電電池は消耗品です。長期間の使用により、通話時間/スタンバイ時間の短縮が起こることがあります。十分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電電池の寿命です。充電電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。 | |
| クリップが破損した | 本製品に付属のクリップは、保証対象外品です。保証期間内であっても、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替品の提供などはできませんのでご了承ください。 | |
| DC充電器が破損・紛失した | 保証期間内の製品の欠陥による修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替品の提供などはできませんのでご了承ください。 | |
| 本体がDC充電器で充電できない | DC充電器に内蔵されているヒューズが切れている可能性があります。DC充電器のLEDランプが点灯していない場合は、電源プラグ先端キャップをまわって取り外して中のヒューズを確認してください。切れているようであれば、新しいヒューズに交換してください。 | 6ページ |
| マルチポイント接続ができない | ノキア製携帯電話同士は、本製品ではマルチポイント接続できません。 ノキア製携帯電話は、[A端末]として登録してください。 | 14ページ |
| マルチポイント接続中着信音が聞こえない | マルチポイント接続している2台のうち、1台の携帯電話で通話中は、別の携帯電話に着信があってもヘッドセットから着信音は聞こえません。 →「音が聞こえない、着信音が聞こえない」の項目もご確認ください。 | 14ページ |



「機能・動作表示一覧(→20ページ参照)」もご確認ください。

ひとくちメモ

製品仕様

| 項目 | 仕様 | 備考 |
|-------------------|------------------------------|----|
| Bluetooth仕様 | Version 2.1 +EDR | |
| Bluetooth対応プロファイル | HSP, HFP (Ver. 1.5) | |
| 周波数 | 2.4 GHz スペクトラム | |
| 使用可能距離 | 見通し 10 m (Class2) | |
| 電池形式・容量 | リチウムポリマー電池 3.7V, 1100mAh | |
| 充電時間 | 約 3 時間 | |
| 通話時間 | 最大約 15 時間 | ※1 |
| スタンバイ時間 | 最大約 300 時間 | ※1 |
| 製品寸法 | H 18.5 × W 128.5 × D 59.5 mm | ※2 |
| 製品重量 | 約 76 g | ※2 |
| 動作温度範囲 | -20°C ~ +70°C | |
| 充電ポート | あり | |
| 接続機器表示名 | Sinc BT500 | ※3 |
| パスキーコード | 0000 (工場設定) | ※4 |

- ※1 使用状況、携帯電話の機種、使用環境、動作条件などによって変わります。
- ※2 クリップを装着していない状態の数値です。
- ※3 接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ(検索)された際に表示される名称です。
- ※4 パスキーコードは、携帯電話とペアリングする際に必要となります。

機能・動作表示一覧

…主な機能一覧

| 機能 | 有効モード | 使用するボタン | 操作・説明 | 備考 |
|-------------------|----------|--------------------|------------|----|
| 電源オン(電源を入れる) | 電源オフ時 | | 約2秒間長押し | ※2 |
| 電源オフ(電源を切る) | 7つの電源ボタン | | 約4秒間長押し | |
| 着信応答(電話を受ける) | 着信中 | | 短く1回押し | |
| 着信拒否 | 着信中 | | 約2秒間長押し | |
| 終話(電話を切る) | 通話中 | メインスイッチ | 約2秒間長押し | |
| ラストナンバーダイヤル | スタンバイ | | 短く1回押し | ※1 |
| 携帯電話から本製品への通話切り替え | 通話中 | | 約2秒間長押し | |
| 本製品から携帯電話への通話切り替え | 通話中 | | 約2秒間長押し | |
| ペアリング待機モードにする | 電源オフ時 | | 5秒以上長押し | ※2 |
| 接続試行 | 接続待ち | | 短く1回押し | |
| ボリュームを上げる | 通話中 | ボリュームアップキー | 1回押すこと | |
| ボリュームを下げる | 通話中 | ボリュームダウンキー | 1回押すこと | |
| ミュート | 通話中 | | 約2秒間長押し | ※3 |
| リセット(ペアリング解除) | 7つの電源ボタン | メインスイッチ/ボリュームダウンキー | 4秒以上同時に長押し | |

- ※1 HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できる携帯電話のみ使用できる機能です。マルチポイント接続時に2台目の携帯電話でリダイヤルする場合は、ボリュームダウンキーを約2秒間長押ししてください。
- ※2 本製品にペアリング履歴が無い場合(購入直後やリセット後など)は約2秒間の長押しでペアリング待機モードになります。
- ※3 ボリュームアップキーまたはボリュームダウンキーを短く1回押すと、ミュートが解除されます。

…主な状態及びディスプレイ表示一覧

※ディスプレイ表示は、1と2の交互切り替え表示です。

| 項目 | ディスプレイ表示1 | ディスプレイ表示2 | 備考 |
|-----------------|---------------------------|-------------|----|
| 充電中 | Battery Charging | Charging | |
| 充電完了(満充電) | Charger Complete | Complete | |
| 電池残量低下 | Low Battery | — | ※1 |
| 電源オン(起動) | Hello | — | ※2 |
| 電源オフ | Good Bye | — | |
| スタンバイモード | Connected Mode + アイコン表示 | Connected | |
| 接続待ちモード | Connectable Mode + アイコン表示 | Connectable | |
| 発信中 | Outgoing Call + アイコン表示 | Outgoing | |
| 着信中 | Incoming Call + アイコン表示 | 相手先電話番号 | |
| 通話中 | Active Call Mode + アイコン表示 | Active Call | |
| 接続途断(リンク切れ) | Link Loss | — | |
| 接続試行(自動接続) | Connecting + アイコン表示 | Connecting | ※3 |
| ペアリング待機モード | Pairing Mode + アイコン表示 | Pairing | |
| ペアリング完了(自動接続完了) | Connected | Connected | ※4 |
| 不在着信 | Missing Call | 相手先電話番号 | |

- ※1 充電されない状態が約30分継続します。
- ※2 その後、接続試行が行われます。
- ※3 ペアリング済みの携帯電話が接続待ちの状態であれば、自動接続が行われ、スタンバイモードになります。自動接続が失敗すると接続待ちモードになります。
- ※4 その後、スタンバイモードになります。

製品の保証について

不具合がございましたら、まず「トラブルシューティング」をご確認ください。
解決しないときは一度本製品のリセットをしてください(→16ページ「リセット」を参照)。
それでも正常に動作しないときは、お買い求めの販売店または弊社お客様相談センター(右記)にお問い合わせください。

○保証書(表紙に印刷) / お買い求めの際に必ず、販売店名、お買い上げ日の記入があるかご確認ください。もしくはお買い求め時のレシートを保管してください。

○保証期間 / お買い上げ日から6ヶ月。

○保証対象品 / 本体、DC充電器 (本体の内蔵充電電池は消耗品のため、保証対象外となります。)

○保証期間中の修理 / お買い求めの販売店または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。保証規定に従って、保証書の記載内容により修理致します。

○保証期間後または期間内でも保証範囲外の修理となる事例 / お買い求めの販売店または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。修理により正常に使用できる場合は、お客様の要望により有料修理致します。

※製造打ち切りから一定期間経過以降は、補修用性能部品の保有が終了している場合があります。

お客様相談センター

本製品に関するお問い合わせは… ☎047(420)0755
受付時間/AM10:00~PM6:00 月曜日~金曜日(祝日休業)
〒273-0023 千葉県船橋市南海神1-2-5

発売元

株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

セイワホームページのご案内(右のQRコードでもOK)

適合情報や、新製品情報などが掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひご覧ください。

<http://www.seiwa-c.co.jp>



無料修理規定

※この裏面に保証書が印刷されています。

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い求めの販売店、または弊社にて無料で交換または修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合は有料交換・修理になります。
 - ① お買い求め後の輸送、移動時の取扱いが不適切なために生じた故障・損傷
 - ② 誤用・乱用および取扱い不注意による故障・損傷
 - ③ 不当な修理または改造による故障・損傷
 - ④ 火災、地震、水害その他の天災地変および異常電圧・指定外の電源使用による故障・損傷
 - ⑤ 保証書のご提示がない場合(レシート添付の場合は除く)、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ⑥ 本機は日本国内にて販売されている日本国内の携帯電話事業者用携帯電話専用であるため、それ以外の携帯電話を使用した場合の故障・損傷
 - ⑦ 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の、故障・損傷
3. 保証期間はご購入日から6ヶ月とします。
4. 本製品の保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. 本製品の保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本製品の保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。